

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和1年10月10日(2019.10.10)

【公開番号】特開2019-48823(P2019-48823A)

【公開日】平成31年3月28日(2019.3.28)

【年通号数】公開・登録公報2019-012

【出願番号】特願2018-200128(P2018-200128)

【国際特許分類】

A 6 1 K	35/741	(2015.01)
A 6 1 K	9/19	(2006.01)
A 6 1 K	39/02	(2006.01)
A 6 1 K	35/74	(2015.01)
A 6 1 P	19/02	(2006.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)
A 6 1 P	27/02	(2006.01)
A 6 1 P	19/00	(2006.01)
A 6 1 P	17/06	(2006.01)
A 6 1 P	17/00	(2006.01)
A 6 1 P	1/04	(2006.01)
A 6 1 P	11/16	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	27/14	(2006.01)
A 6 1 P	9/14	(2006.01)
A 6 1 P	9/10	(2006.01)
A 6 1 P	17/02	(2006.01)
A 6 1 P	37/08	(2006.01)
A 6 1 P	1/02	(2006.01)
A 6 1 P	11/02	(2006.01)
A 6 1 P	37/06	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	11/06	(2006.01)
C 1 2 N	1/20	(2006.01)
A 2 3 L	33/135	(2016.01)
C 1 2 N	15/11	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	35/741	Z N A
A 6 1 K	9/19	
A 6 1 K	39/02	
A 6 1 K	35/74	G
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	25/00	
A 6 1 P	27/02	
A 6 1 P	19/00	
A 6 1 P	17/06	
A 6 1 P	17/00	
A 6 1 P	1/04	
A 6 1 P	11/16	
A 6 1 P	35/00	

A 6 1 P	27/14	
A 6 1 P	9/14	
A 6 1 P	9/10	1 0 1
A 6 1 P	17/02	
A 6 1 P	37/08	
A 6 1 P	1/02	
A 6 1 P	11/02	
A 6 1 P	37/06	
A 6 1 P	29/00	1 0 1
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 P	11/06	
C 1 2 N	1/20	E
A 2 3 L	33/135	
C 1 2 N	1/20	A
C 1 2 N	15/11	Z

【手続補正書】**【提出日】**令和1年8月30日(2019.8.30)**【手続補正1】****【補正対象書類名】**特許請求の範囲**【補正対象項目名】**全文**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【特許請求の範囲】****【請求項1】**

I L - 1 7 又は T h 1 7 経路によって媒介される疾患又は状態を治療又は予防する方法に使用するための、ブラウチア属の細菌株を含む組成物。

【請求項2】

細菌株が、ブラウチア・ウェクスレラエの細菌株である、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

細菌株が、ブラウチア・ウェクスレラエの細菌株の 1 6 s r R N A 配列と少なくとも 9 5 %、9 6 %、9 7 %、9 8 %、9 9 %、9 9 . 5 % 又は 9 9 . 9 % 同一である 1 6 s r R N A 配列を有する、請求項1又は2に記載の組成物。

【請求項4】

細菌株が、配列番号4又は3と少なくとも 9 5 %、9 6 %、9 7 %、9 8 %、9 9 %、9 9 . 5 % 又は 9 9 . 9 % 同一である 1 6 s r R N A 配列を有する、請求項 1 ~ 3のいずれかに記載の組成物。

【請求項5】

細菌株が、配列番号 4 と少なくとも 9 5 %、9 6 %、9 7 %、9 8 %、9 9 %、9 9 . 5 %、若しくは 9 9 . 9 % 同一である 1 6 s r R N A 配列を有するか、又は細菌株が、配列番号 4 によって表される 1 6 s r R N A 配列を有する、請求項4に記載の組成物。

【請求項6】

細菌株が、ブラウチア・ステルコリスの細菌株である、請求項1に記載の組成物。

【請求項7】

細菌株が、ブラウチア・ステルコリスの細菌株の 1 6 s r R N A 配列と少なくとも 9 5 %、9 6 %、9 7 %、9 8 %、9 9 %、9 9 . 5 % 又は 9 9 . 9 % 同一である 1 6 s r R N A 配列を有する、請求項1又は6に記載の組成物。

【請求項8】

細菌株が、配列番号 1 又は 2 と少なくとも 9 5 %、9 6 %、9 7 %、9 8 %、9 9 %、9 9 . 5 % 又は 9 9 . 9 % 同一である 1 6 s r R N A 配列を有する、請求項 1 、6、及

び7のいずれかに記載の組成物。

【請求項 9】

細菌株が、配列番号 2 と少なくとも 95%、96%、97%、98%、99%、99.5% 又は 99.9% 同一である 16S rRNA 配列を有するか、又は細菌株が、配列番号 2 によって表される 16S rRNA 配列を有する、請求項8に記載の組成物。

【請求項 10】

アレルギー性喘息又は好中球性喘息などの喘息；関節リウマチ、変形性関節症、乾癬性関節炎、又は若年性特発性関節炎などの関節炎；多発性硬化症；視神經脊髄炎（デビック病）；強直性脊椎炎；脊椎関節炎；乾癬；全身性紅斑性狼瘡；クローグン病又は潰瘍性大腸炎などの炎症性腸疾患；セリアック病；慢性閉塞性肺疾患（COPD）；乳がん、結腸がん、肺がん、又は卵巣がんなどのがん；ブドウ膜炎；強膜炎；血管炎；ベーチェット病；アテローム性動脈硬化症；アトピー性皮膚炎；肺気腫；歯周炎；アレルギー性鼻炎；及び同種異系移植片拒絶からなる群から選択される疾患又は状態を治療又は予防する方法に使用するための、請求項1～9のいずれかに記載の組成物。

【請求項 11】

好中球性喘息又はアレルギー性喘息などの喘息を治療又は予防する方法に使用するための、請求項1～10に記載の組成物。

【請求項 12】

喘息の治療において好中球增加又は好酸球増加を低減させる方法に使用するための、請求項1～11に記載の組成物。

【請求項 13】

関節リウマチを治療又は予防する方法に使用するための、請求項1～10に記載の組成物。

【請求項 14】

関節リウマチにおける関節の腫脹を低減させる方法に使用するための、請求項1～13に記載の組成物。

【請求項 15】

多発性硬化症を治療又は予防する方法に使用するための、請求項1～10に記載の組成物。

【請求項 16】

多発性硬化症の発生率又は多発性硬化症の重症度を低減させる方法に使用するための、請求項1～15に記載の組成物。

【請求項 17】

ブドウ膜炎を治療又は予防する方法に使用するための、請求項1～10に記載の組成物。

【請求項 18】

ブドウ膜炎における網膜損傷を低減又は予防する方法に使用するための、請求項1～17に記載の組成物。

【請求項 19】

肺がん、乳がん、又は肝臓がんなどのがんを治療又は予防する方法に使用するための、請求項1～10に記載の組成物。

【請求項 20】

腫瘍のサイズを低減させる、腫瘍の増殖を低減させる、転移を予防する、又は血管新生を予防する方法に使用するための、請求項1～19に記載の組成物。

【請求項 21】

IL-17 又は Th17 経路によって媒介される疾患又は状態の治療又は予防において、IL-17 の產生を低減させる又は Th17 細胞の分化を低減させる方法に使用するための、請求項1～20のいずれかに記載の組成物。

【請求項 22】

IL-17 レベル又は Th17 細胞が上昇している患者に使用するための、請求項1～21のいずれかに記載の組成物。

【請求項 23】

関節リウマチを治療又は予防する方法に使用するための、プラウチア・ウェクスレラエ

種の細菌株を含む、請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 24】

好中球性喘息又はアレルギー性喘息などの喘息を治療又は予防する方法に使用するための、ブラウチア・ウェクスレラ工種の細菌株を含む、請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 25】

多発性硬化症を治療又は予防する方法に使用するための、ブラウチア・ウェクスレラ工種の細菌株を含む、請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 26】

ブドウ膜炎を治療又は予防する方法に使用するための、ブラウチア・ウェクスレラ工種の細菌株を含む、請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 27】

がんを治療又は予防する方法に使用するための、ブラウチア・ウェクスレラ工種の細菌株を含む、請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 28】

関節リウマチを治療又は予防する方法に使用するための、ブラウチア・ステルコリス種の細菌株を含む、請求項 1 及び 6 ~ 9 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 29】

好中球性喘息又はアレルギー性喘息などの喘息を治療又は予防する方法に使用するための、ブラウチア・ステルコリス種の細菌株を含む、請求項 1 及び 6 ~ 9 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 30】

多発性硬化症を治療又は予防する方法に使用するための、ブラウチア・ステルコリス種の細菌株を含む、請求項 1 及び 6 ~ 9 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 31】

ブドウ膜炎を治療又は予防する方法に使用するための、ブラウチア・ステルコリス種の細菌株を含む、請求項 1 及び 6 ~ 9 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 32】

がんを治療又は予防する方法に使用するための、ブラウチア・ステルコリス種の細菌株を含む、請求項 1 及び 6 ~ 9 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 33】

経口投与用である、請求項 1 ~ 3 2 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 34】

1 又は 2 以上の薬学的に許容される賦形剤又は担体を含む、請求項 1 ~ 3 3 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 35】

細菌株が凍結乾燥されている、請求項 1 ~ 3 4 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 36】

食品である、請求項 1 ~ 3 5 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 37】

ワクチン組成物である、請求項 1 ~ 3 5 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 38】

ブラウチア属の細菌株を含む、IL - 17 又は Th 17 経路によって媒介される疾患又は状態の治療又は予防剤。

【請求項 39】

受託番号 N C I M B 4 2 4 8 6 として寄託されたブラウチア・ウェクスレラ工株又はその派生物の細胞。

【請求項 40】

請求項 3 9 に記載の細胞を含む組成物。

【請求項 41】

薬学的に許容される担体又は賦形剤を含む、請求項4_0に記載の組成物。

【請求項4_2】

受託番号N C I M B 4 2 4 8 6として寄託されたブラウチア・ウェクスレラエ株又はその派生物の生物学的に純粋な培養物。

【請求項4_3】

受託番号N C I M B 4 2 4 8 6として寄託されたブラウチア・ウェクスレラエ株又はその派生物の細胞を含む、治療に使用するための組成物。

【請求項4_4】

請求項1及び1_0～2_1のいずれかに規定の方法に使用するためである、請求項4_3に記載の細胞。

【請求項4_5】

受託番号N C I M B 4 2 3 8 1として寄託されたブラウチア・ステルコリス株又はその派生物の細胞。

【請求項4_6】

請求項4_5に記載の細胞を含む組成物。

【請求項4_7】

薬学的に許容される担体又は賦形剤を含む、請求項4_6に記載の組成物。

【請求項4_8】

受託番号N C I M B 4 2 3 8 1として寄託されたブラウチア・ステルコリス株又はその派生物の生物学的に純粋な培養物。

【請求項4_9】

受託番号N C I M B 4 2 3 8 1として寄託されたブラウチア・ステルコリス株又はその派生物の細胞を含む、治療に使用するための組成物。